

## 「歯科口腔保健基本計画」の推進に関する今年度の主な取組

|  |  |
|--|--|
| 愛知県歯科口腔保健基本計画<br>全体目標                  | 対応する事業   |
| <b>歯と口腔の健康づくりを通じた県民の健康で質の高い生活の実現</b>   |  |
| 基本方針                                   | 主な取組事業   |
| 歯科疾患の予防                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○う蝕対策支援事業</li> <li>○歯周病対策ネットワーク推進事業</li> <li>○要介護者口腔ケアサービス連携推進事業</li> <li>○<b>歯科検診受診勧奨モデル事業（新規）</b></li> <li>○生活習慣病対策機能連携推進事業</li> <li>○歯科保健活動評価支援事業</li> </ul> |
| 生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○う蝕対策支援事業</li> <li>○歯周病対策ネットワーク推進事業</li> <li>○要介護者口腔ケアサービス連携推進事業</li> </ul>   |
| 定期的な歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○<b>障害者等口腔保健実態調査（新規）</b></li> </ul>   |
| 歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○う蝕対策支援事業</li> <li>○歯周病対策ネットワーク推進事業</li> </ul>  |

### 《歯科疾患の予防》

#### ○歯科検診促進に向けた主な取組事業

##### （1）啓発普及活動

#### ①歯と口の健康週間における街頭キャンペーンの実施（県実施）

歯と口の健康週間において、禁煙活動と併せて普及啓発資料を配付し、歯と口腔の重要性および定期的な歯科検診受診勧奨に向けて、街頭キャンペーンを実施した。

日時：平成25年5月31日（金）

場所：名古屋駅前 ナナちゃん人形周辺

活動内容：関係団体の協力を得て、啓発物品及びリーフレット「8020運動」を配布

啓発物品：歯ブラシ、ふせん（歯と口の健康週間・禁煙週間文字入れ）

配布部数 1,000部

#### ②レシートによる歯科検診受診PR活動（県実施）

特定健康診査・特定保健指導の普及啓発活動と併せて、レシートメッセージによる「歯科検診受診促進」のPR活動を実施した。

日時：平成25年5月27日～6月10日

場所：県内アピタ

活動内容：レシートに掲載【愛知県からのお知らせ】

「年に一度は、歯科検診と特定健診を受けましょう。」

累計Uポイントはネットで照会  
<http://www.ucscard.co.jp/bp>



**【愛知県からのお知らせ】**

年に1度は、**歯科検診**と  
**特定健診**を受けましょう。

年に1度は体のメンテナンスを受けましょう



#### ○事業効果と課題

歯や口の健康週間に啓発活動を実施することは、日頃あまり歯の健康に関心のない者へ普及啓発することに繋がる。継続的な普及啓発が必要である。

## (2) 歯科検診受診勧奨モデル事業(委託事業)

健康日本2 1 あいち計画の最終評価で課題とされた成人の歯周病対策は、定期的な歯科検診の受診が重要であることから、歯科検診受診の妨げとなっている要因を探ることを目的として事業を実施した。

県内全域の歯科診療所において、治療を受けた者を対象にアンケート調査を行い、そこから得られた結果を踏まえて、歯科検診勧奨のための効果的な啓発資材を作成し普及啓発を行う。

- ア アンケート調査内容及び啓発事業のための関係者連絡会議の開催
- イ 1) 歯科医師に対するアンケート調査 100名(回収99名)
  - ・調査内容：診療時の説明内容並びに定期検診の内容、間隔、受診者の状況及び勧奨の状況 等
- 2) 歯科医師による患者アンケート調査 実施1,000名(回収931名)
  - ・調査内容：喫煙の状況、ストレスの感知度、通院の手段及び所要時間、定期検診の受診状況等
- ウ 啓発資料作成(県内歯科診療所、事業所等へ啓発資材配布による啓発)
- エ 委託先：一般社団法人 愛知県歯科医師会

### ○事業効果と課題

歯科口腔保健基本計画では、30歳代で「定期的な歯科検診を受けている者の割合」は38.3%となっており、目標としている55%以上を目指し歯科検診の必要性についてさらに理解を図る必要がある。現在、アンケートは集計が行われているところであるが、調査により歯科検診の受診の妨げになっている要因を明らかにし、課題に対応した施策を今後展開していく。

## 《定期的な歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進》

### ○障害者等口腔保健実態調査(委託事業)

定期的な歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健を推進するためには、障害者(児)の口腔管理状況等の実態を把握する必要があることから、関係施設の管理者に対して調査事業を実施した。

障害者及び要介護高齢者に対する歯科保健活動等の障害者等口腔保健実態調査を行う。

調査対象者：障害者入所施設管理者(73人)及び要介護者入所施設管理者(533人)

調査内容：歯科医師による健診及び歯科医師、歯科衛生士による歯みがき、歯科保健指導等  
むし歯及び歯周病予防のための取組 等

入所者の摂食機能の維持及び向上を図るための指導、訓練の状況等

調査方法：郵送による調査票の配布及び取集

調査期間：平成26年1月10日から同月31日まで

### ○事業効果と課題

障害者(児)や要介護高齢者は本人だけでは口腔管理が難しいことから、歯科疾患が重症化しやすいことがある。しかし、障害者等の歯科口腔ケアの実態については現在把握ができておらず、障害者の口腔保健対策の推進のため実態を把握する必要がある。調査票については、現在集計が行われているところであるが、調査結果から得られた課題から、今後障害者等の口腔保健対策について検討し、実施していく。